

# CASBEE<sup>®</sup> あいち

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)\_AICHI

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	トラスコ中山株式会社プラネット愛知 駐車場	階数	地下0階地上2階
建設地	北名古屋市沖村白弓1番1、他	構造	S造
用途地域	工業地域	平均居住人員	0人
気候区分	6地域	年間使用時間	4,380時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工時期	2024年11月 予定	評価の実施日	2023年6月5日
敷地面積	4,401 m <sup>2</sup>	作成者	内山 誠治
建築面積	3,062 m <sup>2</sup>	確認日	2023年6月7日
延床面積	5,846 m <sup>2</sup>	確認者	内山 誠治



### 2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

**BEE = 0.8** ★★☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

②建築物の取組み #DIV/0!

③上記+②以外の #DIV/0!

④上記+ #DIV/0!

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Qのスコア = 2.4

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

#### Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 1.8

**LR 環境負荷低減性** LRのスコア = 3.2

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.0

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.5

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

### 3 重点項目

<h4>①地球温暖化への配慮</h4> <p style="text-align: center; font-size: 2em; color: green;">N.A</p>	<h4>③敷地内の緑化</h4> <p style="text-align: center; font-size: 2em; color: green;">1.0</p> <p>外構緑化指数(外構緑化面積/外構面積)</p> <p style="text-align: center; font-size: 1.5em;">159.4 %</p> <p>建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積)</p> <p style="text-align: center; font-size: 1.5em;">0.0 %</p>
<h4>②資源の有効活用</h4> <p style="text-align: center; font-size: 2em; color: green;">3.2</p>	<h4>④地域材の活用</h4> <p style="text-align: center; font-size: 2em; color: green;">1.0</p> <p>&lt;外装材に使用した地域性のある材料&gt;</p> <p>なし</p> <p>&lt;建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材&gt;</p> <p>なし</p>

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮  
LR-3 1 地球温暖化への配慮

②資源の有効活用  
Q-2 2 耐用性・信頼性、Q-2 3 対応性・更新性  
LR-2 2 非再生性資源の使用量削減

③敷地内の緑化  
Q-3 1 生物環境の保全と創出

外構緑化指数 =  $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積から建物面積(建築面積及び附属物面積)を除いた}} \times 100$

建物緑化指数 =  $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建築によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}} \times 100$

みんなの環境活動を応援しています

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き  
トラスコ中山株式会社プラネット愛知 駐車場

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル:  
■評価ソフト:

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き  
CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)\_AICHI

スコアシート		実施設計段階								
配慮項目	独自基準	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分	建物全体・共用部分	住居・宿泊部分	住居・宿泊部分	住居・宿泊部分	住居・宿泊部分	全体	
	重点項目		評価点	評価点	重み係数	評価点	評価点	重み係数		
<b>Q 建築物の環境品質</b>										
<b>Q1 室内環境</b>										
<b>1 音環境</b>										
1.1 室内騒音レベル										
1.2 遮音										
1 開口部遮音性能										
2 界壁遮音性能										
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)										
4 界床遮音性能(重量衝撃源)										
1.3 吸音										
<b>2 温熱環境</b>										
2.1 室温制御										
1 室温										
2 外皮性能										
3 ゾーン別制御性										
2.2 湿度制御										
2.3 空調方式										
<b>3 光・視環境</b>										
3.1 昼光利用										
1 昼光率										
2 方位別開口										
3 昼光利用設備										
3.2 グレア対策										
1 昼光制御										
3.3 照度										
3.4 照明制御										
<b>4 空気質環境</b>										
4.1 発生源対策										
1 化学汚染物質										
4.2 換気										
1 換気量										
2 自然換気性能										
3 取り入れ外気への配慮										
4.3 運用管理										
1 CO <sub>2</sub> の監視										
2 喫煙の制御										
<b>Q2 サービス性能</b>										
<b>1 機能性</b>										
1.1 機能性・使いやすさ										
1 広さ・収納性										
2 高度情報通信設備対応										
3 バリアフリー計画										
1.2 心理性・快適性										
1 広さ感・景観 (天井高)										
2 リフレッシュスペース										
3 内装計画										
1.3 維持管理										
1 維持管理に配慮した設計										
2 維持管理用機能の確保										
<b>2 耐用性・信頼性</b>										
2.1 耐震・免震・制震・制振										
1 耐震性(建物のこわれにくさ)										
2 免震・制震・制振性能										
2.2 部品・部材の耐用年数										
1 躯体材料の耐用年数										
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔										
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔										
4 空調換気ダクトの更新必要間隔										
5 空調・給排水配管の更新必要間隔										
6 主要設備機器の更新必要間隔										
2.4 信頼性										
1 空調・換気設備										
2 給排水・衛生設備										
3 電気設備										
4 機械・配管支持方法										
5 通信・情報設備										

<b>3 対応性・更新性</b>				<b>0.4</b>	<b>3.5</b>	0.48	-	-	-	<b>3.5</b>
<b>3.1 空間のゆとり</b>				-	-	-	-	-	-	
1	階高のゆとり			-	-	-	-	3.0	-	
2	空間の形状・自由さ			3.0	-	-	-	3.0	-	
<b>3.2 荷重のゆとり</b>				<b>3.0</b>	<b>3.0</b>	0.45	-	<b>3.0</b>	-	
<b>3.3 設備の更新性</b>				<b>0.5</b>	<b>3.9</b>	0.55	-	-	-	
1	空調配管の更新性	②		-	-	-	-	-	-	
2	給排水管の更新性		露出配管	3.0	5.0	0.20	-	-	-	
3	電気配線の更新性		露出配線	3.0	5.0	0.13	-	-	-	
4	通信配線の更新性		露出配線	3.0	5.0	0.13	-	-	-	
5	設備機器の更新性			3.0	3.0	0.27	-	-	-	
6	バックアップスペースの確保			3.0	3.0	0.27	-	-	-	
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>					-	<b>0.57</b>	-	-	-	<b>1.8</b>
<b>1 生物環境の保全と創出</b>		独自③		-	<b>1.0</b>	0.30	-	-	-	<b>1.0</b>
<b>2 まちなみ・景観への配慮</b>		独自④		-	<b>2.0</b>	0.40	-	-	-	<b>2.0</b>
<b>3 地域性・アメニティへの配慮</b>				<b>0.3</b>	<b>2.5</b>	0.30	-	-	-	<b>2.5</b>
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		独自④		-	<b>2.0</b>	0.50	-	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上				-	<b>3.0</b>	0.50	-	-	-	
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>						-	-	-	-	<b>3.2</b>
<b>LR1 エネルギー</b>						<b>0.40</b>	-	-	-	<b>3.0</b>
<b>1 建物外皮の熱負荷抑制</b>				<b>3.0</b>	-	-	-	-	-	-
<b>2 自然エネルギー利用</b>				<b>3.0</b>	-	-	-	-	-	-
<b>3 設備システムの高効率化</b>			BEI=	<b>3.0</b>	-	-	-	-	-	-
<b>4 効率的運用</b>				<b>1.0</b>	<b>3.0</b>	1.00	-	-	-	<b>3.0</b>
集合住宅以外の評価				<b>1.0</b>	<b>3.0</b>	1.00	-	-	-	
4.1	モニタリング			3.0	3.0	0.50	-	-	-	
4.2	運用管理体制			3.0	3.0	0.50	-	-	-	
集合住宅の評価				-	-	-	-	-	-	
4.1	モニタリング			-	3.0	-	-	-	-	
4.2	運用管理体制			-	3.0	-	-	-	-	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>						<b>0.30</b>	-	-	-	<b>3.5</b>
<b>1 水資源保護</b>				<b>0.1</b>	<b>3.0</b>	0.15	-	-	-	<b>3.0</b>
1.1 節水				<b>3.0</b>	-	-	-	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				<b>1.0</b>	<b>3.0</b>	1.00	-	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無			3.0	3.0	0.67	-	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無			3.0	3.0	0.33	-	-	-	
<b>2 非再生性資源の使用量削減</b>				<b>0.6</b>	<b>3.4</b>	0.63	-	-	-	<b>3.4</b>
2.1 材料使用量の削減				-	2.0	0.07	-	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用				-	3.0	0.25	-	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		②	高炉セメント	-	5.0	0.21	-	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		独自	-	3.0	1.0	0.21	-	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材				3.0	-	-	-	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		独自	スケルトン	3.0	5.0	0.25	-	-	-	
<b>3 汚染物質含有材料の使用回避</b>				<b>0.2</b>	<b>4.3</b>	0.22	-	-	-	<b>4.3</b>
3.1 有害物質を含まない材料の使用				<b>3.0</b>	<b>3.0</b>	0.32	-	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避				<b>0.6</b>	<b>5.0</b>	0.68	-	-	-	
1	消火剤			-	-	-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)		発泡材を用いた断熱材を使用していない	-	5.0	1.00	-	-	-	
3	冷媒			3.0	-	-	-	-	-	
<b>LR3 敷地外環境</b>						<b>0.30</b>	-	-	-	<b>3.2</b>
<b>1 地球温暖化への配慮</b>		①	#DIV/0!	-	-	-	-	-	-	-
<b>2 地域環境への配慮</b>				<b>0.5</b>	<b>3.5</b>	0.50	-	-	-	<b>3.5</b>
2.1 大気汚染防止			燃焼機器の使用はない	-	<b>5.0</b>	0.25	-	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善				-	<b>3.0</b>	0.50	-	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制				<b>0.2</b>	<b>3.0</b>	0.25	-	-	-	
1	雨水排水負荷低減	独自	任意の雨水貯留槽を設置	-	4.0	0.33	-	-	-	
2	汚水処理負荷抑制			-	-	-	-	-	-	
3	交通負荷抑制	独自	滞留スペースを確保している	-	4.0	0.33	-	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制			-	1.0	0.33	-	-	-	
<b>3 周辺環境への配慮</b>				<b>0.5</b>	<b>3.0</b>	0.50	-	-	-	<b>3.0</b>
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				<b>0.4</b>	<b>3.0</b>	0.40	-	-	-	
1	騒音	独自		-	3.0	0.50	-	-	-	
2	振動	独自		-	3.0	0.50	-	-	-	
3	悪臭			-	-	-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				<b>0.4</b>	<b>3.0</b>	0.40	-	-	-	
1	風害の抑制			-	3.0	0.70	-	-	-	
2	砂塵の抑制			-	3.0	-	-	-	-	
3	日照障害の抑制			-	3.0	0.30	-	-	-	
3.3 光害の抑制				<b>0.2</b>	<b>3.0</b>	0.20	-	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			-	3.0	0.70	-	-	-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			-	3.0	0.30	-	-	-	

**重点項目スコアシート**

実施設計段階

■使用評価マニュアル

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き

トラスコ中山株式会社プラネット愛知 駐車場

■評価ソフト:

CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)\_AICHI

重点項目(配慮項目)		評価点	全体に対する 重み係数	重点項目スコア	
<b>① 地球温暖化対策</b>				<b>N. A</b>	
LR3-1	地球温暖化への配慮	0.0	0.00		
<b>② 資源の有効活用</b>					<b>3.2</b>
Q2-2	耐震性・信頼性	3.0	0.22		
Q2-3	対応性・更新性	3.5	0.21		
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	3.4	0.19		
<b>③ 敷地内の緑化</b>				<b>1.0</b>	
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.17	外構緑化:159.4%/建物緑化:0%	
<b>④ 地域材の活用</b>		(評価ポイント)		<b>1.0</b>	
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-	なし	
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-	なし	

■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化

重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用  $\frac{\text{評価点} \times \text{全体に対する重み}}{\text{重みの総和}}$  の総和

重点項目スコア=  $\frac{\text{評価点} \times \text{全体に対する重み}}{\text{重みの総和}}$

④地域材の活用

重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

## ■ 環境設計の配慮事項

■ 建物名称 トラスコ中山株式会社プラネット愛知 駐車場

計画上の配慮事項	
総合	災害時の対応として免震装置、汚水・雨水貯留槽、非常用3発電設備等を設け3日間滞在できる施設とした。
Q1 室内環境	評価対象外
Q2 サービス性能	露出配管、配線のため配管、配線の更新が容易
Q3 室外環境(敷地内)	植栽により良好な景観を形成している。
LR1 エネルギー	運用管理体制を組織化している。
LR2 資源・マテリアル	高炉セメントを採用
LR3 敷地外環境	燃焼機器の使用がない
その他	